



## まちなかに賑わいを、縁つながりを

今年3月19日、JR和歌山駅前のみその商店街にコワーキングスペース・イベントスペースの「BE-EN」をオープンさせた前川怜輝さんに、オープンまでの経緯やまちなかの賑わいへの思いをお聞きしました。コワーキングスペース「BE-EN」には be・縁 = 「縁になる」という前川さんの強い思いが込められています。



「BE-EN」3階の「集中ブース」

**まずは仲間づくりと「ミニライブ」**  
前川さんは滋賀県出身。大学在学中に京都市内でカフェバーを開業されています。そのきっかけは「仲間が集まる空間を作りたいと思ったから」だそうです。

**縁を感じ活動スタート**  
京都市で事業をされていた前川さん。どのような経緯で和歌山市、みその商店街で活動するようになったのでしょうか。

**まちなか賑わい創出 企画運営業務を通して**  
同年9月に和歌山市に移住。翌年2月にみその商店街の空き店舗を利用しシェアハウス事業をスタート。仲間が集まり滞在できるよ



空き店舗を改修した「BE-EN」2階のオープンフロア

うにベッドを作ったり、内装を改修したりといった作業も前川さんと友人たちがDIYでおこないました。同年6月にはシェアハウスに続いて「Cafe & Bar またたび」を開業、2022年12月からはみその商店街全域を活用したマルシェ型イベント「みそのマルシェ」の企画・運営を始め、今年3月にはコワーキングスペース

「BE-EN」は和歌山市「まちなか賑わい創出企画運営業務」(以下「賑わい創出事業」)を活用して開業しました。

**起業家精神を持つ 人材の育成を目指す**  
地域づくりの基本は地域資源を活用できる人の育成だといわれます。

歌山駅から約200メートルと交通の便がととも良いみその商店街内で、365日24時間利用できるコワーキングスペースとして、地元学生の自習や資格勉強の場、和歌山に出張にいられたビジネスマンの作業スペースや打ち合わせ場所、県外企業の和歌山での事業拠点など幅広く活用されています。アプリを活用することで、非会員でも24時間利用できるのも魅力です。

**「アントレプレナーシップ」(起業家精神)を持つ人材が不足していると感じています。**  
事業をするには人が必要です。コワーキングスペースBE-ENは様々な人が行き交う駅前という利点を生かして、新しい価値観に触れ、挑戦するきっかけとなる場所になれば、「と前川さんは思いを語ってくださいました。」(森下和紀)



コワーキングスペース BE-EN (ビーエン)  
和歌山市美園町 5丁目 6-13 2・3階  
<https://be-en.com/>  
<https://www.instagram.com/BE.EN.coworking>  
運営：株式会社 IKOTAS  
問い合わせはウェブサイトからお願いします。

### わかやま SDGs パートナースHIP基金特別版 6月豪雨災害被災地復興支援基金へのご寄附を募集します

みんなの力で和歌山の復興を！



今般の豪雨災害で被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。この豪雨では県内で 3,400 棟を超える建物で浸水や損壊などが確認されているほか、農林水産業関連では 4,000 箇所以上で土砂崩れなどの被害が発生する大きな災害となりました。多数の県内外のボランティアのみなさんのご協力をいただきながら、家屋等の応急復旧が進められ、住まいの復旧はおおむね完了に向かっていますが、被災地は高齢化が進んでいる地域が多く、生活の復興に向けては、「地域での支えあい活動」をどう活性化させるかが大きな課題となっています。



わかやま NPO センターでは社会福祉協議会などと連携しながら、支えあい活動の活性化に取り組みますが、財政的に活動を支援する仕組みとして、既存の「わかやま SDGs パートナースHIP基金」の枠組みを活用し、助成を実施することにいたしました。その原資をみなさまからのご寄附としてお寄せいただきたく、ご協力を賜りますと幸いです。

県内の被災地に対して、みなさまからの暖かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

寄附受付金額 **1口3,000円**～ 寄附受付目標額 **150,000円** 8月末まで募集予定です。

いただいたご寄附は、水害被災地を中心に、住民同士の支えあい活動をおこなう団体に対して助成します。3万円を5団体に助成する計画です(寄附金額により変動することがあります)。なお、助成に際しては、わかやま NPO センターが設置する審査委員会にて審査を実施します。

#### 主な用途の想定

- ▶ 被災した地域での住民同士の交流会・カフェ
- ▶ 地域で困難を抱えた方の支援、多世代の交流ができる機会の提供(こども食堂・地域食堂など)
- ▶ 生活復興に向けた学習会・研修会 など

#### ご支援の方法

- ▶ 1口3,000円からクレジットカード決済・銀行口座への振り込みにより受け付けます。決済・入金方法の詳細は右上の二次元コードからご覧いただけます。クレジットカード決済はスマートフォン・パソコンから受け付けます。決済にかかる手数料はわかやま NPO センターが負担します。銀行口座へのお振込みの際の振込手数料はご負担いただけますようお願いいたします。
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。※ 寄附金控除について…ご寄附いただいた金額から 2,000円を差し引いた金額の約 50%が、確定申告により所得税等から控除されます。法人の場合は損金算入限度額が拡大されます。

#### 【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 URL <https://wnc.jp/>  
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail [info@wnc.jp](mailto:info@wnc.jp)  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】



こちらから決済ページにアクセス可能です

### 和歌山市 NPO・ボランティア 推進協議会だより

#### 農業体験農園無料説明会

日程 8月25日(金)・26日(土) 共に9:00から  
場所 和歌山市内の農業体験農園4園で同時開催  
内容 手ぶらで農業体験ができる農園の利用説明会  
参加費 無料(申し込み必要)  
主催 JAわかやま営農生活部 073-473-9402  
einou@wyk.jawink.ne.jp

#### こども落語ワークショップ特別編

日程 9月9日(土) 13:30～15:00  
12月9日(土) 13:30～15:00  
場所 和歌山県立図書館文化情報センター  
講師 笑福亭呂好さん  
定員 小中学生と保護者 20名  
内容 こども落語ワークショップとして、落語の所作、小話、太鼓などを学びます  
参加費 資料代 500円(申し込み必要)  
主催 わかやま楽落会 [katoku0716@outlook.jp](mailto:katoku0716@outlook.jp)  
090-9864-1344